



■日本共産党掛川市議会議員

掛川市@塩町 3-7

■日本共産党掛川市政策委員長

掛川市家代 2194-6

勝川 しほこ

(22)1325

大井 正

(23)1848

市議会にもっと市民の声を届けたい 対談7

子どもたちに 若者に
希望ある未来を手渡したい

★勝川 私と大井さんは、子育てを終えて孫を持つ世代です。大人として次世代に責任を持たないといけないと思います。

★大井 私の3人の子どもは皆30代。すでに大人でレギュラーです。今の社会の変革と新しい社会の創造は彼らに任せたい。私は彼らに、今の社会のナリを正して渡したい。核兵器・原発・環境・政治指導者の品格・社会規範どれもこれもこのまま引き渡すに忍びない。

★勝川 子どもは与えられた環境の中でけなげに生きようと思います。未来を担う子どもの幸せは大人の責任です。貧困の連鎖の問題など生まれた環境で将来が限定されてしまうような社会ではおかしいです。

★大井 全ての問題をすぐに解決にするのは難しいけど、何らかの前進を大人たちの努力で成し遂げた子どもたちが思ってくれば、決して無責任な世代交代ではないと思う。

★勝川 子どもたちや若者には、自分の考えを持って主人公として生きる力を育んでほしい。



政治に携わろうとするものとして、「みんなのためになりたい」という思いがありますよね。私の場合、自然が好きで、生きものすべての幸せの上に自分の幸せがあると思っています。

★大井 「みんなの幸せが自分の幸せ」これが共産党員のポリシーだと思う。だから結果としてみんなが期待するような議員になれば、共産党員としても及第点をもらえるんじゃないかな。

【勝川議員の市政報告】

2月定例会(3/19終了)で大東温泉シートピアの企業への無償譲渡に関わる4件に反対

32年前のバブルの最中に「ふるさと創生基金」として1億円ずつが全国各自治体にばらまかれました。シートピアはこれを資金に旧大東町が温泉を掘って建設されました。

今回シートピアを業者の提案するプランに従い改装費の80%程(2億7千万円)を市の財政調整基金を取り崩して負担したうえで民間会社のリバティに無償で譲る事になりました。その上地代(1000万円/年)は地元と契約している期間は市が払い続けます。公共事業としてどうだったのかという検証も必要ですが、コ

ロナの大変な財政状況の中の2億7千万円です。南部地域の振興の要の施設を「後はお任せ」と企業に任せると企業に任せるとリスクの高さを感じます。もうけがなければ企業は事業の継続をあきらめるでしょうし、縛りが外れた2028年以降はこの施設をどのように使おうと企業の自由となります。



私は巨大地震が心配される今、南部地域の振興には、津波対策などの安全確保が欠かせないと思っています。海岸線沿い、菊川河口の施設は原発からも10キロ圏内です。リスクが懸念されるところです。地元との話し合いや計画への参加がもっと事前に必要だったのではと思います。

議会は赤字を産む施設として早期の譲渡を提言しています。無責任な公共事業の放棄が住民サービスの低下を生まないような手立てが必要だと考えます。

大井正



にいろいろ聞いてみよう⑦

【質問】 議員として

やってみたい事は何ですか？

1つの建設会社に39年間、土木の現場で働いてきました。得意分野は土木です。土木行政を市民のものに、公共事業という名にふさわしいものしたいと思います。具体的には市の予算として確保できる土木工事費の割合とその根拠・妥当性を明確にする。土木工事の費目別に、住民向けか産業向けか、産業向けの場合 特定企業等への不当な優遇措置が無いかを確認する。さらに防災事業費の確保・推進等々いっぱいあります。

のせいか
あなたに
声を聞かせ
てください
市民アンケート
実施中

複数議席回復
特設サイト